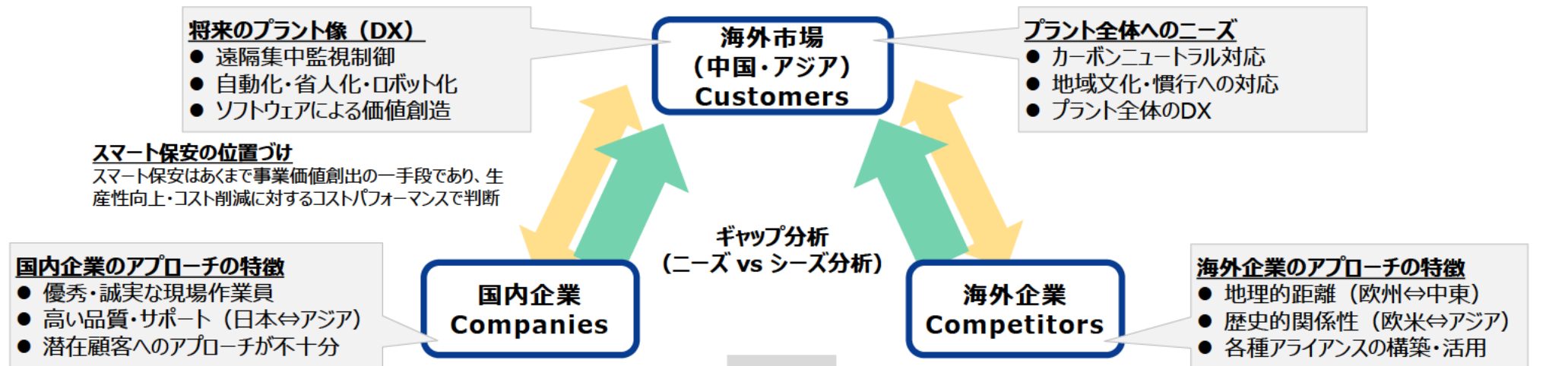
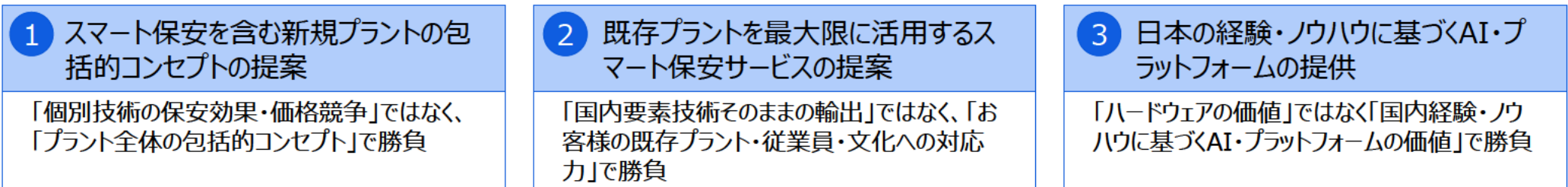


「産業保安の国際展開に向けた研究会」検討概要

- 将来のプラント像を想定（→遠隔集中監視制御、自動化・省人化・ロボット化、ソフトウェアによる価値創造）
- アジア、中国、中東の3地域を対象にスマート保安ニーズ及び課題等を整理（→カーボンニュートラル対応、地域文化・慣行への対応、基盤コミュニケーション不足など）
- 日本のスマート保安技術の海外展開の方法について3つのアプローチを検討（下記参照）



日本のスマート保安技術の海外展開のアプローチ



国・行政機関による支援（MOC、スマート保安対話、安全技術外交等）